

【公衆衛生医師になるまで～現在の職場】

平成 10 年に東京都下の私大医学部を卒業、3 年間精神科で臨床に従事したのち、平成 13 年に横浜市保健所に入庁しました。

入庁後は、区役所福祉保健センターのスタッフ職、本庁感染症所管部署での係長職、区役所福祉保健センターの課長、部長職を経験し、本年度から区役所福祉保健センター長として従事しています。

【現在の業務内容：1 週間のスケジュール例】

- 月曜日 AM：肺がん検診 X 線写真の読影（月 1 回程度実施）
PM：資料作成（生活習慣病予防教室用）
- 火曜日 AM：区役所部課長会等諸々会議
PM：結核カンファランスおよび結核接触者健診
- 水曜日 AM：エイズ匿名検査（結果説明・感染予防指導）
PM：乳幼児健診（待機や従事）
- 木曜日 AM：区役所安全衛生委員会（産業医としてのお仕事です）
PM：民生委員児童委員協議会
- 金曜日 AM：感染症教育のための情報収集、打ち合わせ
PM：連合町内会との会議

上記は、ある週の業務内容で、医師としての業務から、区役所幹部職員としての業務等々多岐にわたり、様々な経験を積むことが出来ています。

【職場環境やライフワークバランスについて】

公務員として、時間内の業務を心がけており、基本は 18 時前には定時退社しております。土日の出勤もほとんどありません。次男を授かった際には、育児休業も数か月間取得させていただけました。その分、感染症発生の折には、保健所医師として、精力的に対応しております。

【横浜市に入職を希望する皆様に】

横浜市は、政令指定都市としても規模も大きく在籍医師数も多く、お互いに助け合い、学びあえる、とても良い環境です。また、定期的に異動がありますが、様々な職種の方と知り合える良いきっかけとなっています。

市役所行政、公衆衛生行政の現場も意外と奥深く、刺激的で楽しんでおります。

皆さまからのご連絡を心待ちにしております。

